多様な性に関する参考資料・相談先リスト

認定特定非営利活動法人ReBit

【ReBitの書籍・教材】

LGBTとアライのための法律家ネットワークほか(2019)『法律家が教えるLGBTフレンドリーな職場づくりガイド』法研

高橋うらら（2021）『みんなちがってみんなステキ：LGBTの子どもたちに届けたい未来』新日本出版社

電通ダイバーシティ・ラボ（2022）『みんなで知りたいLGBTQ+』全5巻 文研出版

東優子ほか（2018）『トランスジェンダーと職場環境ハンドブック：だれもが働きやすい職場づくり』日本能率協会マネジメントセンター

三成美保ほか（2017）『教育とLGBTIをつなぐ：学校・大学の現場から考える』青弓社

三成美保ほか（2019）『LGBTIの雇用と労働：当事者の困難とその解決方法を考える』晃洋書房

藥師実芳ほか（2018）『「ふつう」ってなんだ？：LGBTについて知る本』学研プラス

藥師実芳ほか（2019）『改訂新版LGBTってなんだろう？：自認する性・からだの性・好きになる性・表現する性』合同出版

ReBit（2015）「LGBT就労支援ガイドブック」（冊子）

ReBit（2015）「LGBTと職場について考えるハンドブック：すべての人が豊かに働く職場づくりを目指して」（冊子）

ReBit（2017）「LGBTと職場：すべての人が豊かに働く職場づくりを目指して」（DVD）

ReBit（2017）「中学校版Ally Teacher’s Tool Kit」（教材）

ReBit（2018）「小学校高学年版Ally Teacher’s Tool Kit」（教材）

ReBit（2021）「キャリア支援者のためのLGBTQハンドブック」（冊子）

ReBit（2021）「教職員研修版Ally Teacher’s Tool Kit」（教材）

渡辺大輔（2016）『いろいろな性、いろいろな生きかた』全3巻 ポプラ社

【入門書・概論】

石田仁（2019）『はじめて学ぶLGBT：基礎からトレンドまで』ナツメ社

遠藤まめた（2020）『ひとりひとりの「性」を大切にする社会へ』新日本出版社

ジュリー・ソンドラ・デッカー（2019）『見えない性的指向　アセクシュアルのすべて：誰にも性的魅力を感じない私たちについて』明石書店

針間克己（2020）『LGBT専門医が教える心・体そして老後大全』わかさ出版

星賢人（2020）『自分らしく働く：LGBTの就活・転職の不安が解消する本』翔泳社

松岡宗嗣（2021）『あいつゲイだって：アウティングはなぜ問題なのか？』

エリス・ヤング（2021）『ノンバイナリーがわかる本：heでもsheでもない、theyたちのこと』明石書店

Label X（2016）『Xジェンダーって何？：日本における多様な性のあり方』

【未就学児～小学生に】

サトシン（2011）『わたしはあかねこ』文溪堂

ジェシカ・ウォルントン（2016）『くまのトーマスはおんなのこ：ジェンダーとゆうじょうについてのやさしいおはなし』ポット出版プラス

ジャスティン・リチャードソンほか2008）『タンタンタンゴはパパふたり』ポット出版

ながみつまき（2016）『りつとにじのたね』リーブル出版

なかやみわ（2001）『くれよんのくろくん』童心社

パトリシア・ポラッコ（2018）『ふたりママの家で』サウザンブックス
ピーター・マキューリオ（2022）『ぼくらのサブウェイ・ベイビー』サウザンブックス
フランチェスカ・パルディ（2013）『たまごちゃん、たびにでる』イタリア会館出版部
マイケル・ホール（2017）『レッド：あかくてあおいくれよんのはなし』子どもの未来社
メアリ・ホフマン（2018）『いろいろ いろんな かぞくの ほん』少年写真新聞社
リンダ・ハーンほか（2015）『王さまと王さま』ポット出版
ロブ・サンダース（2018）『レインボーフラッグ誕生物語：セクシュアルマイノリティの政治家ハーヴェイ・ミルク』汐文社
ピーター・ブラウン（2023）『ぼくのスカート』小学館

【中高生に】
遠藤まめた（2021）『みんな自分らしくいるためのはじめてのLGBT』筑摩書房
スーザン・クークリン（2014）『カラフルなぼくら：6人のティーンが語る、LGBTの心と体の遍歴』ポプラ社
QWRCほか（2016）『LGBTなんでも聞いてみよう：中・高生が知りたいホントのところ』子どもの未来社
佐々木掌子ほか（2022）『LGBTだけじゃない！わたしの性』全4巻 国土社
社会応援ネットワーク（2021）『図解でわかる14歳からのLGBTQ+』
中塚幹也（2018）『個「性」ってなんだろう？：LGBTの本』
日高庸晴（2015）『LGBTQを知っていますか？："みんなと違う"は"ヘン"じゃない』
日高庸晴（2015）『もっと知りたい！話したい！セクシュアルマイノリティ：ありのままのきみがいい』全3巻 汐文社
日高庸晴（2017）『セクシュアルマイノリティって何？』少年写真新聞社
ケリー・ヒューゲル（2011）『LGBTQってなに？：セクシュアル・マイノリティのためのハンドブック』明石書店
藤井ひろみ（2017）『よくわかるLGBT：多様な「性」を理解しよう』PHP研究所
ジェローム・ポーレン（2019）『LGBTヒストリーブック：絶対に諦めなかった人々の100年の闘い』サウザンブックス
アシュリー・マーデル（2017）『13歳から知っておきたいLGBT+』ダイヤモンド社
ロバート・ロディほか（2017）『わたしらしく、LGBTQ』全4巻 大月書店
渡辺大輔（2018）『性の多様性ってなんだろう？』平凡社

【教職員・保護者に】
遠藤まめた（2016）『先生と親のためのLGBTガイド：もしあなたがカミングアウトされたなら』合同出版
遠藤まめた（2022）『教師だから知っておきたいLGBT入門：すべての子どもの味方になるために』ほんの森出版
葛西真記子（2019）『LGBTQ+の児童・生徒・学生への支援』誠信書房
加藤慶ほか（2012）『セクシュアルマイノリティをめぐる学校教育と支援：エンパワメントにつながるネットワークの構築にむけて 増補版』開成出版
康純（2017）『性別に違和感がある子どもたち：トランスジェンダー・SOGI・性の多様性』合同出版
寺田千栄子（2020）『LGBTQの子どもへの学校ソーシャルワーク：エンパワメント視点からの実践モデル』明石書店
中塚幹也（2017）『封じ込められた子ども、その心を聴く：性同一性障害の生徒に向き合う』ふくろう出版
"人間と性"教育研究所（2002）『同性愛・多様なセクシュアリティ：人権と共生を学ぶ授業』子どもの未来社
眞野豊（2020）『多様な性の視点でつくる学校教育：セクシュアリティによる差別をなくすための学びへ』松籟社
三成美保（2017）『教育とLGBTIをつなぐ：学校・大学の現場から考える』青弓社
ダニエル・オウェンズ＝リードほか（2016）『LGBTの子どもに寄り添うための本：カミングアウトから始まる日常に向き合うQ&A』白桃書房
RYOJIほか（2007）『カミングアウト・レターズ：子どもと親、生徒と教師の往復書簡』太郎二郎社エディタス

【ウェブサイト】
『ジェンダーニュートラル・個人マークシール』 https://sites.google.com/view/nijiirodesignplus/home
『ジェンダーニュートラルなフリーイラスト』 https://seikyouiku-illust.com/gender-neutral/

【医療・福祉の現場に】
はたさちこほか（2016）『学校・病院で必ず役立つLGBTサポートブック』保育社
藤井ひろみほか（2007）『医療・看護スタッフのためのLGBTIサポートブック』メディカ出版
吉田絵理子（2022）『医療者のためのLGBTQ講座』南山堂

【自治体・企業に】
神谷悠一ほか（2020）『LGBTとハラスメント』集英社
社会福祉法人共生会SHOWA（2021）『性的マイノリティサポートブック』かもがわ出版
帯刀康一ほか（2019）『知らないでは済まされない！LGBT実務対応Q＆A：職場・企業、社会生活、学校、家庭での解決指針』民事法研究会
手島美衣（2021）『LGBTと労務』労働新聞社
寺原真希子ほか（2018）『ケーススタディ職場のLGBT：場面で学ぶ正しい理解と適切な対応』ぎょうせい
「なくそう！SOGIハラ」実行委員会（2019）『はじめよう！SOGIハラのない学校・職場づくり：性の多様性に関するいじめ・ハラスメントをなくすために』大月書店
宮川直己（2022）『LGBTQの働き方をケアする本』自由国民社
柳沢正和ほか（2015）『職場のLGBT読本：「ありのままの自分」で働ける環境を目指して』実務教育出版

【小説】
上山和音（2019）『にじ姫さまのいるところ』保育社 ※児童書・YA
小川糸（2014）『にじいろガーデン』集英社
乙武洋匡（2020）『ヒゲとナプキン』小学館
キャット・クラーク（2017）『パンツ・プロジェクト』あすなろ書房 ※児童書・YA
咲乃月音（2012）『僕のダンナさん』宝島社文庫
アレックス・ジーノ（2016）『ジョージと秘密のメリッサ』偕成社 ※児童書・YA
エミリー・M・ダンフォース（2020）『ミスエデュケーション』サウザンブックス
戸森しるこ（2016）『ぼくたちのリアル』講談社 ※児童書・YA ※この作者の他の作品もあります
名木田恵子（2018）『窓をあけて、私の詩をきいて』出版ワークス ※児童書・YA
パク・サンヨン（2020）『大都会の愛し方』亜紀書房
M・G・ヘネシー（2018）『変化球男子』鈴木出版 ※児童書・YA
ジョン・ボイン（2020）『兄の名は、ジェシカ』あすなろ書房
エイミ・ポロンスキー（2018）『ぼくがスカートをはく日』学研プラス ※児童書・YA
吉川トリコ（2014）『ミドリのミ』講談社
マイク・ライトウッド（2018）『ぼくを燃やす炎』サウザンブックス
李琴峰（2018）『独り舞』講談社 ※この作者の他の作品もあります
李屏瑤（2022）『日向性植物』光文社

【漫画】

おくら『うちの息子はたぶんゲイ』既刊4巻 スクウェア・エニックス

KAITO『青のフラッグ』全8巻 集英社

鎌谷悠希『しまなみ誰そ彼』全4巻 小学館

河崎芽衣（2017）『見えない子どもたち：LGBTと向き合う親子』秋田書店

志村貴子『青い花』全8巻 太田出版

志村貴子『放浪息子』全15巻 エンターブレイン

田亀源五郎『弟の夫』全4巻 双葉社

田亀源五郎『僕らの色彩』全3巻 双葉社

野原くろ（2021）『キミのセナカ』サウザンブックス

パレットーク（2021）『マンガでわかるLGBTQ+』講談社

ももせしゅうへい『向井くんはすごい！』全2巻 KADOKAWA

ゆざきさかおみ『作りたい女と食べたい女』既刊3巻 KADOKAWA

よしながふみ『きのう何食べた？』既刊20巻 講談社

【参考情報】

◆相談窓口・支援団体

○よりそいホットライン (24 時間無料電話相談、4 番が性別や同性愛に関する相談) 0120-279-338

○SNS 相談「生きづらびっと」

○プライドハウス東京レガシー「ラップアラウンド・サポート」

（LGBTQ や「そうかもしれない」と感じている 24 歳以下の子ども・ユースに向けた相談支援プログラム）

○NPO 法人 LGBT の家族と友人をつなぐ会・東京 (LGBT の人たちの家族・友人による会) 090-9876-2423

○NPO 法人 SHIP「SHIP にじいろキャビン」(横浜市内にある LGBT の若者のためのフリースペース)

○NPO 法人ピアフレンズ（男の子が好きな男の子のための友達づくりイベント)

○にじーず（池袋、さいたま、札幌で月1回開催される 10 代~23 歳くらいまでの交流会)

○にじっこ（都内で開催される 15 歳以下の子どもたちや家族のための交流会)

◆ウェブサイト

○OUT IN JAPAN（LGBTQ の人たちのポートレートとメッセージ)

○LGBTER（LGBTQ の人たちとアライの人たちへのインタビュー)